

平成28年度 桶川市子どもフォーラム

～私たちでつくる 笑顔あふれる 桶川市～



桶川市長 小野 克典

どのグループも個々に出し合った課題を少ない時間でまとめあげ、その対策とまちの将来像をしっかりと発表していました。子ども達の素直な目線でわかりやすく表現された提案を今後のまちづくりに活かしていきたいと思えます。



平成28年度桶川市子どもフォーラム
～私たちでつくる 笑顔あふれる 桶川市～

参加者（敬称略・順不同）

桶川西小：平山旭、釣谷帆花、和久津遼太
 納小：伊藤志帆、神谷翔太郎、甘楽結希
 川田谷小：川邊大翔、木村彩代、高橋瞳実
 桶川東小：若林みちる、齊藤美麗、阿部瑞貴
 日出谷小：岩崎綾乃、大原有稀、窪歩音
 朝日小：伊藤沙也加、奈良歩紀
 桶川小：岡田梨里、山崎日花里、吉田涼乃

市内の小学6年生の代表者20人が参加した「桶川市子どもフォーラム」が、8月2日(火)、市民ホールを会場に開催されました。

この「子どもフォーラム」は、桶川市の将来を担う子どもたちが、自分たちの住んでいる桶川市のまちづくりについて意見交換し、市への愛着や関心を高めることを目的に開催しています。当日はテーマ別に4グループに分かれ討議を行い、グループでまとめた内容を発表しました。各グループの発表内容の概要をご紹介します。詳しくは☑秘書広報課

Cグループ 「桶川アピール大作戦」



問題点

- 施設、人口、有名な料理などが少ない
- そもそも桶川市があまり有名でない

対策

- 観光マラソンを開催する
- 桶川の特産物を作って紹介する場所を作る
- ペニバナウォークなどの地域資源を広めていく

将来像

- ①有名なものを広めて桶川市の知名度をアップ
→魅力的な建物（遊園地や競技場）を作る
- ②観光客を増やす
→●休憩所で特産物を提供する
●観光マラソンを開催する

発表
内容

Aグループ 「世代をつなぐ 子どもキャンパスで学ぼう！」

子どもキャンパスとは…

- 子どもを中心に色々な世代が教え合い楽しく気軽に学び合えることができる学校
(昔遊び、手芸、書道、スポーツ、ゲームなど)

運営方法

- 廃校や駅などを利用する
- 土・日・祝日は、働いている人
平日は、高齢者や子ども

宣伝方法

- ホームページ、回覧板、ポスターなどで宣伝する



Dグループ 「安心安全！空気のきれいな桶川市&緑がたくさんかがやく桶川へ！」



問題点

- ①地球温暖化が進んでいる
- ②緑が少ないため自然と触れ合うことができない

これからの対策

- 地球環境の保全と経済成長を両立するエコライフについての回覧板を回す
- 環境について学べる施設を作る
- 環境新聞を作る
- リサイクルポイント事業を進める

将来

緑が豊かで有名な桶川市にする

Bグループ 「安心安全で元気な街『おけがわ』」

課題

1. 東口方面におもいきり遊べる運動場がない
2. 道路が狭く、段差がある場所がある
3. 不審者が心配

改善策

- 施設や遊具がいっぱいあり誰もが遊べる公園を作る
- 段差をスロープにする
- 防犯カメラ付きの「街灯」を設置する
- 段差をスロープにする



■この「子どもフォーラム」の紙面は、インターンシップに参加した学生が作りました。

桶川市は

東日本大震災および熊本地震の被災地を 応援します

映画「物置のピアノ」上映会のご案内

桶川市協働推進提案事業・震災チャリティ映画上映会
～福島小さな桃農家に生まれ、ピアノに魅せられたひとりの少女の物語～



と き▶10月10日(月・祝)

①10:00～ ②14:00～

③18:00～ ※本編115分

ところ▶市民ホール

入場料▶前売券500円 当日券800円

※チケットの売上代金の一部を東日本大震災および
熊本地震の義援金として被災地に送ります。

チケット販売窓口▶市民ホール1階チケットセンター

☎789-1513(販売時間:午前10時～午後6時)

主 催▶桶川市、コミュニティシネマおけがわ

共 催▶桶川市教育委員会

協力団体▶

桶川市議会、(社福)桶川市社会福祉協議会、区長会、(公財)けやき文化財団、鴻巣地区保護司会桶川支部、自主防災組織連絡協議会、男女共同参画桶川市民の会、民生委員・児童委員協議会、文化団体連合会、人権擁護委員会、赤十字奉仕団、ボランティアグループ紅花の会、ボランティア・市民活動ネットワーク、桶川地区更生保護女性会、朗読グループさんふらわぁ、桶川市商工会、読書会連絡協議会、こどもの本の会、子ども会育成連絡協議会、老人クラブ連合会、(公社)桶川市シルバー人材センター、PTA連合会、(社)桶川青年会議所、桶川ライオンズクラブ、桶川ロータリークラブ、桶川イブニングロータリークラブ
(順不同)

詳しくは☎自治文化課

映画のあらすじ

2012年7月。あの震災から1年後の夏。
高校3年生の宮本春香(17歳)が奏でるピアノは薄暗い物置から夏草の薫りの中に溶け込んでゆく――。
ある日、東京の大学に通う姉・秋葉(20歳)が突然帰ってくる。
優秀で何でも器用にこなす人気者の秋葉といつも比べられてきた、不器用で臆病な春香。
そんな春香にとってピアノを弾いている時が唯一の心安らぐ時間であり、物置は世界の中心だった。宮本家には幼い弟を亡くした悲しい過去の記憶がある。そのことで自分を責め続けてきた春香。物置でピアノを弾くことは、弟への償いでもあった。そんな中、桃の風評被害が更に祖父を苦しめていく。春香は、いつも優しく自分を見守ってくれている祖父のため、ある決断をする――。
失った命への家族それぞれの思い、福島の桃農家の現状、浪江町から避難して来た少年との出会い。そして、秋葉との衝突……春香の中で何かが変わろうとしていた。

市職員を熊本地震被災地へ派遣し 復興へ向けたお手伝いをしてきました



熊本地震により被災した熊本県上益城郡益城町へ、7月13日から19日までの7日間、被災地支援のため市職員2人を派遣しました。現地では、被災された方が各種支援を受ける際に必要となる「り災証明書」の発行に必要な「家屋被害認定調査」の業務を行いました。
詳しくは☎職員課